看護 あきた

Vol.116

Nursing Akita

平成26年度 1号
公益社団法人秋田県看護協会会報

［目次］

1 前会長あいさつ
秋田県看護協会のさらなる発展を祈って … 鳥　トキヱ

2 会長あいさつ
会員が主体的に推し進める協会活動 …… 髙島　幹子

3 平成26年度 秋田県看護協会
通常総会・特別講演リポート

4 平成26年度 役員名簿

にかほ高原

5 平成26年度 理事・監事・地区支部長・常任・特別委員一覧

7 「看護の日」事業報告

9 シリーズ 看護部長が看護の想いを語る

10 シリーズ 医療・看護安全委員会　安全情報

11 事務局からのお知らせ

平成26年度会員数　6,863名（H26.7.3現在会員数）

保健師　250名　　助産師　305名　　看護師　6,052名　　准看護師　256名

秋田県看護協会の さらなる発展を祈って

秋田県看護協会 前会長　烏　トキヱ

新緑の美しい季節を迎えました。皆様には、お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。私は、このたびの平成26年度総会をもちまして協会長の任務を終了させていただきます。この6年間、関係機関から賜りましたご厚情を初め、会員の皆様のご支援、共に頑張って下さいました役員や委員、事務局の方々に心から感謝申し上げます。

振り返ってみますと、この期間には、少子高齢化に伴う医療法の改正、保助看法・人材確保法の改正が行われ、医療や看護は大幅な方向転換が必要でした。医療は、病院中心から地域連携へと推移し、医療職の役割分担が拡大しました。看護においては、新卒看護師の研修制度や看護職の生涯学習の努力義務化、働き続けられる環境整備など、看護の質の向上と看護職の処遇改善が飛躍的に推進されました。秋田県においても、新人の離職率減少や看護系大学院の増加、そして、がん専門看護師育成と認知症認定看護師の育成開始等、専門的な質の高い看護への道筋が整い、平成25年度にはがん看護分野と急性重症患者看護分野の専門看護師が１名づつ誕生するに至りました。

秋田県看護協会では、この激変する社会ニーズに対応するとともに、法人制度改革に基づく公益社団法人への移行を進めることが最も重要な事項でした。理念の作成、定款等の規則や組織の策定、経理体系整備等に理事や委員会、地区支部、職員が一丸となって取り組み、お陰様で平成24年4月1日、無事移行・登記ができました。多くの会員の皆様と議論を重ね、県協会のあるべき姿を共有できたことは得難い経験となりました。

また、災害支援体制の構築についても早急に進める必要がありました。平成20年度災害看護委員会を設置し、平成22年度までに要綱の作成、災害看護支援体制の確立、災害支援ナースの育成・登録・保障の決定、必要物品の整備が整い、東日本大震災の際には災害支援ナースを全国に先駆けて派遣することができました。

その他、平成20年の60周年記念事業（自殺予防標語募集、式典、記念誌発刊）、日本看護学会母性学術集会、昨年10月の第44回日本看護学会-成人看護Ⅱ-学術集会開催も大きな事業でした。これらの大きな事業を盛会裏に終えることができたのは、ひとえに担当された方々の熱意とご努力によるものであり、心より御礼申し上げます。

この4月から、医療・介護保険制度の新たな仕組みが始まり、在宅での療養にベクトルが向かいつつあります。在宅療養を可能にするためには、看護職の確保と、施設間・職種間の連携が必要ですが、秋田県では、看護師不足と看護職間の理解不足が課題となっております。看護協会では、県民の健康を守り、県民が安心して自宅で暮らせるよう支え繋ぐために、これらの課題解決に向けた企画を実施予定です。

今後、看護を取り巻く環境はさらに変化すると思いますが、皆様には、看護職として誇りを持ち続け、受け身ではなく自ら変化を起こし、専門職としての役割を果たしていかれることを期待いたします。

最後に、皆様の協会への変わらないご協力をお願いしますとともに、秋田県看護協会の益々の発展を心より祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

平成26年6月5日

会員が主体的に推し進める協会活動

秋田県看護協会 会長　髙島　幹子

この度、平成26年度秋田県看護協会総会において烏トキヱ前会長の後を引き継ぎ、会長に就任いたしました髙島幹子でございます。就任に際して一言ご挨拶申し上げます。

去る6月10日・11日、名古屋の日本ガイシホールで開催された日本看護協会通常総会において、坂本すが会長は、日本の65歳以上人口は、すでに3000万人を超えて世界最高水準の高齢化率を記録し、これまでどこの国も経験したことのない急激な高齢化が進んでいることを指摘され、限られた医療資源のもとで、日本の看護職がいかに挑んでいくのか、欧米・アジア各国の看護職から注目されているという事に触れられました。内閣府出版の平成25年版高齢社会白書によると日本国内にあって秋田県は、65歳以上の人口割合が30.7%であり、高齢化率は全国1位となっております。これまでの病院中心の医療から地域における医療へのシフトに、いかに取り組むかが喫緊の大きな課題です。

当看護協会は平成24年4月1日に公益社団法人として新たなスタートを切り3年目を迎えております。急速な高齢化社会に伴う疾病構造の変化を受けて、社会保障・税一体改革も進んでいる中、私たち看護職が、それぞれの立場で、その専門性を発揮しつつ柔軟に対応していくことが求められます。看護職能団体としては、会員の一人ひとりが、その能力をいかんなく発揮しつつ、看護の仕事に対して誇りや、やりがいを感じながら長く働き続けられる職場環境を整える支援が大切と考えております。

平成26年度秋田県看護協会の重点事項は　1.働き続けられる職場環境づくりへの支援　2.質の高い看護の提供・継続教育の推進　3.地域連携の推進・訪問看護の充実　4.適正な組織運営並びに組織強化　5.医療・看護の安全対策及び災害支援の推進　6.看護協会事業の積極的な広報　7.県民の健康づくり・次世代育成支援、であります。

以上の7項目を効果的に推し進めるためには、会員の皆様のご協力、ご支援が欠かせません。一人でも多くの方たちに、これらの活動に参加していただき、忌憚のないご意見を頂戴しながら「会員が主体的に推し進める看護協会の重点事項」の推進と実現を目指したいと考えております。これらの活動を効果的に達成してこそ、看護職能団体としての社会的使命に、真に応えることにつながるものと認識しております。

私は、これまで大学病院の看護部長として看護師の能力向上や就業環境の整備に、そして副病院長としては患者さんの視点に立った医療サービスのあり方や多職種協働に取り組んでまいりました。今後は、秋田県全体の医療に視野を広げ、県民の皆様の健康的な生活の実現に寄与し社会貢献できるよう全力で努めてまいります。更なるご支援をお願いして会長就任のご挨拶とさせていただきます。

平成26年度 秋田県看護協会 通常総会

■開催日時：平成26年6月18日（水） 9:30～15:30
■開催場所：秋田県総合保健センター 2階 大会議室
■会員総数：6,863名（平成26年6月3日現在）
定足数 3,382名（正会員の過半数）
■出 席 者：9時20分現在 会員324名
委任状 5,431名 合計 5,755名を持って
開催された。

●プログラム

9:00 開場・オリエンテーション

9:30 開会・開会宣言
物故会員への黙とう 4名
会長挨拶 烏 トキエ
来賓祝辞 秋田県知事 代理 健康福祉部次長 進藤 英樹 氏
秋田市長 代理 秋田市保健所次長 永井 暁 氏
秋田県医師会長 小山田 雍 氏
来賓紹介
秋田県看護協会会長表彰 受賞者：会員126名
受賞者謝辞 代表 水野淳子氏 （男鹿みなと市民病院）

10:20 議長団選出
中村悦子氏 山平良子氏 高橋拓弥氏
総会成立宣言
議事録署名人選出 川村みどり氏 藤澤広子氏
選挙管理委員及び選挙立会人指名

10:30 ［報告事項］
1.平成25年度理事会・常務会報告
2.平成25年度日本看護協会関係理事会等報告
3.平成25年度事業報告
4.平成26年度秋田県看護協会重点事項並びに事業計画
5.平成26年度収支予算

11:50 議決事項
第１号議案 平成25年度決算(案)について
第２号議案 平成26年度改選役員及び推薦委員の選出(案)について
第３号議案 平成27年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出(案)について
第４号議案 会長候補者の選出について

12:40 議長団解任
新役員紹介 新役員挨拶
旧役員への謝辞 旧役員の挨拶 日本看護協会歌斉唱「光 もとめて」

12:55 閉会

14:00 ［特別講演］
テーマ「労働と看護の質に関するデータベース(ＤｉＮＱＬ)」
講 師 公益社団法人日本看護協会 常任理事 松月 みどり 氏

15:30 講演終了

平成 26 年度 役員名簿

理事・監事

	役職名	氏名	職種	所属施設名
理事	会長	髙島　幹子	看	秋田県看護協会
	副会長	河西　淑子	保	在宅(由利本荘市)
	副会長	菅原トシヱ	助	ひがし稲庭クリニック
	常務理事	福田　幸子	看	秋田県看護協会
	書記	佐藤　光子	看	在宅(秋田市)
	会計	石黒　博子	看	介護老人保健施設　遊心苑
	教育	工藤　一子	助	秋田県看護協会
	保健師職能	太田　敦子	保	在宅(秋田市)
	助産師職能	工藤佐智子	助	山本組合総合病院
	看護師職能	守屋　陽子	看	在宅(秋田市)
	鹿角	成田須磨子	看	かづの厚生病院
	大館	伊藤　深雪	看	大館市立扇田病院
	北秋田	畠山　淳子	看	北秋田市民病院
	能代・山本	近藤　昌子	看	山本組合総合病院
	秋田臨海	今野　笑子	看	秋田大学医学部附属病院
	由利本荘・にかほ	三浦　瑞枝	看	本荘第一病院
	大仙・仙北	髙橋　洋子	看	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
	横手	佐藤セツ子	看	市立横手病院
	湯沢・雄勝	阿部比登美	看	雄勝中央病院
	准看護師	櫻庭　文子	准	藤原記念病院
	監事	井上　栄	看	秋田県福祉相談センター
	監事	澤木みわ子	看	秋田県成人病医療センター
	監事	伊藤　安徳		在宅(秋田市)

※地区理事と地区支部長は同一です

選挙管理委員会

●印:委員長

委員名	職種	所属施設名
●下間　美里	看	秋田県成人病医療センター
沢田石　良子	看	外旭川病院
鎌田　さち子	看	秋田厚生医療センター
伊藤　瞳	看	御野場病院
小林　雅子	助	市立角館総合病院

推薦委員会

委員名	職種	所属施設名
木村　カズ子	看	在宅(横手市)
成田　やよい	看	北秋田市民病院
池田　美紀子	看	外旭川病院
佐々木　冷子	看	地域医療機能推進機構 秋田病院
野崎　富士子	看	土崎病院

常任・特別委員

●印:委員長

委員会名	委員名	職種	所属施設名
保健師職能委員会	●太田　敦子	保	在宅(秋田市)
	中村　悦子	保	秋田市役所　長寿福祉課
	本田　由喜子	保	仙北地域振興局福祉環境部
	佐藤　直子	保	秋田地域振興局福祉環境部
	熊澤　由美子	保	秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻
	正木　みえ子	保	在宅(由利本荘市)
助産師職能委員会	●工藤　佐智子	助	山本組合総合病院
	本多　由美	助	大館市立総合病院
	藤井　美佐子	助	市立秋田総合病院
	田中　由江	助	市立横手病院
	冨樫　昭子	助	秋田赤十字病院
	齋藤　繭子	助	由利組合総合病院
看護師職能委員会	●守屋　陽子	看	在宅(秋田市)
	大高　喜代美	看	地域医療機能推進機構秋田病院
	工藤　文子	看	秋田県立脳血管研究センター
	宮城　正子	看	秋田厚生医療センター
	田口　典子	看	大曲厚生医療センター
	豊嶋　純子	看	中通リハビリテーション病院
	上村　勝也	准	今村病院
	高橋　芳枝	看	特別養護老人ホーム真昼荘
	猪股　洋子	看	介護老人保健施設かみの里
社会経済福祉委員会	●北嶋　洋子	助	北秋田市民病院
	田村　佳代子	看	湖東厚生病院
	阿部　美賀子	看	平鹿総合病院
	武田　千恵美	看	中通総合病院
	石川　みゆき	看	本荘第一病院
教育研修委員会	●佐々木由美子	助	湖東厚生病院
	菅原　千鶴子	看	大館市立総合病院
	伊藤　志保	看	地域医療機能推進機構秋田病院
	樋渡　佳代子	看	雄勝中央病院
	鈴木　恵子	看	秋田大学医学部附属病院
	新野　隆子	助	秋田赤十字病院
	佐藤　弘美	看	市立秋田総合病院
	加藤　詩子	看	御野場病院
	加藤　彰子	保	秋田県立医療養育センター
	伊勢　由紀子	看	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
	坊良　由可	看	由利組合総合病院
	齊藤　由紀子	看	大曲厚生医療センター
	大塚　朱実	看	平鹿総合病院
	小野　麻由子	保	日本赤十字秋田看護大学
	国安　みゆき	看	秋田厚生医療センター
広報委員会	●藤田　直	看	大曲中通病院
	嘉藤　久仁子	看	平鹿総合病院
	丸井　直人	看	市立秋田総合病院
	佐藤　美紀	看	中通リハビリテーション病院
	冨樫　まゆみ	看	本荘第一病院
	柴田　昌子	看	秋田緑ケ丘病院
	佐藤　美鈴	看	土崎病院
	千葉　亜矢子	看	市立角館総合病院
	武田　忍	看	秋田厚生医療センター
	須藤　由紀子	看	市立大森病院
	佐々木　繭子	看	山本組合総合病院
看護制度委員会	●佐々木　吉明	准	花園病院
	佐々木久美子	看	北秋田市民病院
	石井　広美	看	杉山病院
	森本　和子	看	市立横手病院
	佐藤　祥子	看	平鹿総合病院
看護学会委員会	●渡邉　知子	看	秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻
	齊藤　清子	助	秋田県立衛生看護学院
	小林　育子	看	秋田大学医学部附属病院
	成田　真理子	看	秋田赤十字病院
	虻川　桂子	看	大曲厚生医療センター
	長谷川　蘭子	看	秋田市医師会立秋田看護学校
	鈴木　典子	看	外旭川病院
	佐藤　友子	看	雄勝中央病院
認定看護管理者教育運営委員会	●庄子　公子	看	市立秋田総合病院
	猿田　久仁子	看	在宅(秋田市)
	大塚　悦子	看	秋田大学医学部附属病院
	田口　牧子	看	秋田看護福祉大学
	豊嶋　直美	看	中通総合病院
	工藤　一子	助	秋田県看護協会
[特別委員会]災害看護委員会	●木嶋　しげ子	看	由利組合総合病院
	木村　志保子	看	かづの厚生病院
	越後谷　和美	看	秋田厚生医療センター
	小坂　さおり	看	男鹿みなと市民病院
	熊谷　浩子	看	秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
[特別委員会]訪問看護推進委員会	●石川　セツ子	看	在宅(秋田市)
	柴田　貴子	看	大館市立扇田病院
	工藤　雅子	看	秋田厚生医療センター
	鎌田　百合子	看	中通訪問看護ステーション
	真崎　祥子	看	市立角館総合病院
	金　美穂子	看	ナースステーションふきのとう
[特別委員会]医療・看護安全委員会	●三浦　真由美	看	市立秋田総合病院
	宮腰　久美子	看	能代山本医師会病院
	石井　直子	看	秋田赤十字病院
	石川　桂美	看	秋田緑ヶ丘病院
	伊藤　真紀子	看	秋田県立脳血管研究センター
	髙橋　美紀子	看	大曲厚生医療センター
[特別委員会]ワーク・ライフ・バランス推進委員会	●福田　幸子	看	秋田県看護協会
	加藤　節子	看	藤原記念病院
	工藤　正志	看	秋田緑ケ丘病院
	大須賀　滝子	看	本荘第一病院
	三浦　正彦		秋田県健康福祉部医務薬事課
	松橋　廣巳	看	秋田県看護協会
[特別委員会]財務検討委員会	●河西　淑子	保	在宅(由利本荘市)
	石黒　博子	看	介護老人保健施設 遊心苑
	宮堀　真澄	看	日本赤十字秋田看護大学
	伊藤　安徳		在宅(秋田市)
	木村　了		税理士法人 秋田税経プランニング代表社員

平成26年度 理事紹介

会長（新任）

秋田県看護協会
髙島 幹子

会長に就任し重責を感じております。諸先輩が築かれた伝統を引き継ぎつつ、さらに発展できるように全力で務めてまいります。地域医療を支える看護職能団体として、社会の変化に対応した協会づくりを目指したいと思います。

副会長（新任）

ひがし稲庭クリニック
菅原 トシヱ

役員をやらせて頂いた若い頃、協会に対する熱い思いを持った諸先輩に大いに刺激を受けました。今、同年代になり、新たな気持ちで協会の基本理念に則り、この役職を全うできるよう尽力いたします。

常務理事（再任）

秋田県看護協会
福田 幸子

常務理事として二期目を迎えました。

１期目は目の前の事業をいかにスムーズに実施していくかを考えながら実践してまいりました。今期は内容を思考・分析しながら進めたいと考えております。よろしくお願いいたします。

会計理事（再任）

介護老人保健施設　遊心苑
石黒 博子

公益社団法人として協会に対する地域の期待は高まっております。又少子高齢社会の中で協会運営の展望についても考えていかなければなりません。皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

看護師職能理事（再任）

秋田市
守屋 陽子

24・25年度、看護師職能委員長として活動させていただきました。

その中で、保健・医療・福祉における連携の重要性を再確認し、また、その難しさも感じました。病院・介護施設・在宅との連携推進を課題に、委員会で協議しながらひとつひとつ取り組んでいきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

由利本荘・にかほ地区理事
（再任）

本荘第一病院
三浦 瑞枝

昨年度に引き続き、地区支部長をさせていただくことになりました。前年度の反省を踏まえ、また、会員の皆様の協力を得ながら魅力的な地区活動を行ってまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

大仙・仙北地区理事
（新任）

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
高橋 洋子

この度、大仙・仙北地区理事を務めさせていただくことになりました。

地域の施設、会員の皆様の御協力を仰ぎ、看護の道を目指す中・高生への支援や、地域でのボランティア活動から看護協会をPRし組織発展に貢献できるよう頑張りたいと思います。

横手地区理事
（新任）

市立横手病院
佐藤 セツ子

この度横手地区理事を務めさせていただくことになりました。

地区理事は以前にも経験がありますが、公益法人になってからは初めてになります。理事の役割が大きいと聞いておりますが、皆様からご指導、ご協力をいただきながら、地区支部活動を通して、地域社会に貢献できるように努力していきたいと思います。

湯沢・雄勝地区理事
（新任）

雄勝中央病院
阿部 比登美

この度、湯沢雄勝地区支部理事を務めさせていただく事になりました。
会員の皆様や地域住民から信頼される活動を行い、地区支部と協会との連携役として責務を果たせるよう努力してまいります。初めての任務であり、諸先輩や役員の皆様のご指導のもと頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

准看護師理事
（新任）

藤原記念病院
櫻庭 文子

今年度より理事を務めさせていただくことになりました。このような大役は初めてで、不安なことばかりですが、諸先輩のご指導のもとに精一杯努めていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

監事
（再任）

秋田県福祉相談センター
井上　栄

今年、公益社団法人となって2期目の監事を担当することになりました。

会員約6,960人の大組織の監事の責務・重大さに身の引きしまる思いです。

社会の変化に対応し、日々進化・発展している看護協会の一助となるよう今後とも責務を果たしていきたいと思います。どうぞ御指導宜しくお願いします。

看護の心をみんなの心に

秋田県民と集う

看護の日フェア

2014 5.10 (土)

［会場］秋田拠点センター
アルヴェ1F
（きらめき広場）

実施報告

まちの保健室　10:10～11:00　11:30～14:45
血圧・骨密度・体脂肪測定・薬・栄養・メタボリックシンドローム相談・口腔衛生・
乳がん自己検診・お酒との付き合い方・女性の悩み相談・看護職就職相談

家庭看護実演・相談コーナー　11:30～14:45

AED実演　1回目／10:30～11:00　2回目／12:30～13:00

ちびっこナース写真撮影　10:10～14:45

マッキーさん「アート風船」プレゼントコーナー　10:25～14:45
（アンケート記入ご協力の方へ協会記念グッズプレゼント）

「和みアート」展示コーナー　10:10～14:45

ステージイベント

10:10～10:25　アトラクション
マッキーさんジャグリングショー

11:00～11:30　講演：
認知症の早期発見・早期対応について
地域医療機能推進機構秋田病院
認知症看護認定看護師　伊藤 由紀子氏

13:00～14:00　特別講演：笑いヨガ
笑顔でエクササイズ
～ココロとカラダの元気はあなたの笑顔から～
オリジナルスマイル研究所　小山田 聖子氏

14:00～14:40　アトラクション
フラダンスを楽しみましょう！
フラダンスグループ「フラ　ハラウ　オ　メレ　アロハ」

知って安心
大好評だった認知症公演

イケメンキッズ☆

めんこい♡プチナース

各コーナー、大盛況でした

毎年人気！
マッキーさんの
風船アート

笑顔でエクササイズ(＾＾)v

皆さん真剣です。いざという時、役立ててください

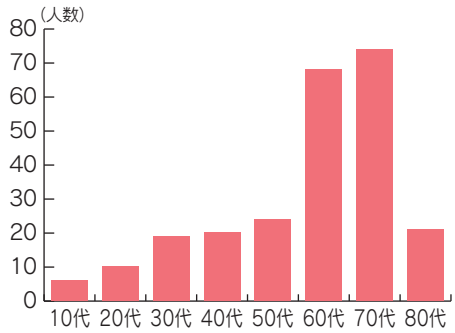
スギッチ今年も登場！

フラダンスグループ
「フラ ハラウ オ メレ アロハ」
フラダンスで楽しみました

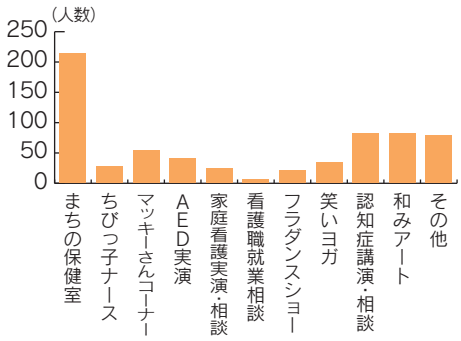
話してスッキリ！

看護の日フェア アンケート結果

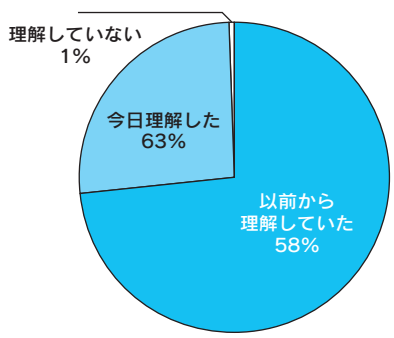
Q 年代



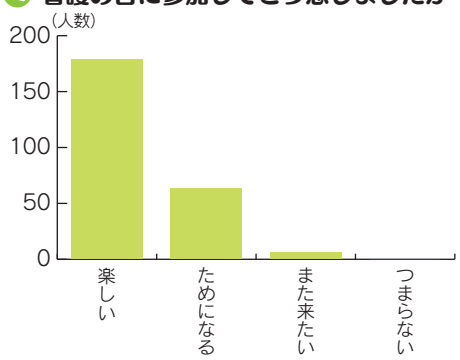
Q どのコーナーが良かったと思いますか？



Q 看護の日を理解いただけましたか？



Q 看護の日に参加してどう感じましたか



意見・感想・要望

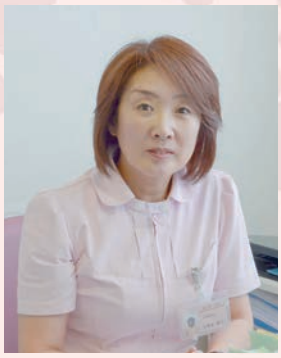
健康を維持するために大切なことを学びました。丁寧な説明で親切に教えて頂きありがとうございます。
(80代以上／男性／秋田市)

「看護の日」を小学校２年生の娘はとても楽しみにしています。
(40代／女性／秋田市)

家族が認知症になっているので今回の講演は大変良かったです。
(50代／女性／秋田市)

シリーズ
No.13

看護部長が看護の想いを語る



本荘第一病院
総看護師長
大須賀　滝子さん

ひと雨ごとに緑が濃くなり、病院裏の河川敷は夏模様に変化しています。

本荘第一病院は地域の人々に“高度な医療をあたたかいハートで提供する”をモットーにして、昭和63年子吉川河川敷側に創立された160床の病院です。当時、医療現場にサービスという概念は稀少でしたが創設者の院長は「地域の中で大病院に負けない先端医療を提供したい。でも一番大切なことは患者サービスだ。患者にはやさしくしてくれ」と事あるごとに職員に語っていました。理念という表現ではなく、こうした院長の意を受け、スタッフが一丸となり“やさしい病院”を目指しました。特に看護科は医療の知識・技術の学びと共に接遇には力を注いできました。ご忠言も沢山いただきましたが今は地域の人に『職員がやさしい病院』と言っていただけようになったと自負しています。

医療・看護の質は他者が評価するものであるという考えのもと、平成13年に日本医療機能評価機構より認定を受け、以来5年毎に3回更新して認定されました。地域に根ざし、安心・安全・信頼を得られる医療サービスを提供すべく努力している病院であると第3者から認定されたと言えます。さらに、18年にはＤＰＣ対象病院となり、こうした将来の医療・経営を見越して行動する院長の口癖が「他でしていないから先にやる」でした。新しいことを始める事に躊躇した時には、その言葉に随分と後押しされました。私は今までの経験してきたことの無かった環境に初めは戸惑いましたが、次第にそれが当院の強みでもあることに気付きました。

新しいことを始める時は時間もエネルギーも要ります。今問題が無いならあえて生み出す苦労はしたくないと考えてしまいます。それを実行できたのは院長（リーダー）の強い求心力と職員のチーム力です。セクショナリズムを排して、他職種が協力し合って同じ方向を向いたときの当院の瞬発力は、他には無い強みであると気付きました。そしてその強みがあれば何があっても乗り越えられる、という自信とチームとしての連帯感を生みだしてきたことに、誇りを感じています。

現在、国の医療政策は診療機能の分科をすすめています。小規模の当院が、最先端の医療を地域住民に完結して提供することは、将来的には難しくなってくるのかもしれません。当院が急性期の診療を欠いた時、住民の信頼を失い、スタッフの意欲と誇りをも奪いとってしまわないか危惧するところでもあります。

こうした厳しい医療情勢の中、看護科としては看護師の働く意欲を低下させないようにしていくことが最課題になります。働きやすい環境づくり、スタッフを大切に育成していくことは通年目標ではありますが、今後さらに重要さを増していくと思われます。スタッフ自身には過去にとらわれず時代に即した対応ができること、物事に対してどんなことにでもプラス思考で取り組む姿勢を持つことの大切さを伝えていきたいと思います。そしてどんな時でも看護の本質を失うことなく、清廉であり続けたいと願っています。

安全情報 No.3

医療・看護安全委員会

足浴やシャワー浴時の熱傷

足浴やシャワー浴の際に、手袋を装着したまま湯の温度を確認したため温度確認が不十分となり、熱傷をきたした事例が報告されています。

事例が発生した医療機関の取り組み

患者に湯を使用する前に、以下の方法などで湯の温度を確認する

- 温度計で測る
- 実施者の上腕内側の皮膚で確認する

事例のイメージ	医療機関の取り組みイメージ図
シャワー浴	上腕内側の皮膚で温度を確認
足浴	温度計や上腕内側の皮膚で温度を確認

報告されている３件は、脳炎による意識障害など意思疎通が充分にできない患者の事例です。

公益財団法人 日本医療機能評価機構 第８回報告書「共有すべき医療事故情報」

INFORMATION

事務局からの連絡・報告

「AED」の設置

鳥 トキエ前会長から設置台を寄贈頂きました。

協会職員一同、AEDの使用がない事を祈りながら
看護センターを利用される方々の
「万が一」に備えております。

県民と集う訪問看護フォーラム

日　時：平成26年8月30日（土）13:00～16:00
場　所：秋田市拠点センター　アルヴェ　きらめき広場
テーマ：「認知症になっても、最期までわが家で暮らせるまちづくり」

多様な勤務形態導入支援事業

「夜勤・交代制勤務の負担軽減に向けて ―組織で取り組む対策の提案―」

日 時：平成26年 9月20日（土）10:00～12:00　会場：秋田看護福祉大学
　　平成26年10月18日（土）10:00～12:00　会場：平鹿総合病院

第41回秋田県看護学会開催

日　時：平成26年10月4日（土）9:30～16:00
場　所：秋田テルサ　1階　ホール
メインテーマ：「支えつなぐ看護の未来」

今回掲載された文章や写真、個人名・団体名については個人情報保護法の下、他の目的には一切使用いたしません。

編集後記

照りつける太陽がまぶしい季節となりました。熱中症にも充分きをつけていかなければいけませんね。

広報委員となって２年目を迎え、今年度第１号の「看護あきたvol.116」を発刊することが出来ました。まだまだ不慣れではありますが、新しく委員となるメンバーと協力しながら、魅力ある「看護あきた」を創っていきたいと思いますので、皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

（記・柴田 昌子）

看護あきた Vol.116 平成26年度 1号
Nursing Akita

発　行　日／平成26年7月14日
発行責任者／公益社団法人 秋田県看護協会 会長
発　行　所／公益社団法人 秋田県看護協会　秋田市千秋久保田町6-6 Tel 018-834-0172
印　刷　所／秋田中央印刷(株)　秋田市新屋豊町6-43 Tel 018-823-7577